

カンボジア・ベトナム

01-July-05

女性の雇用機会拡大・地位向上 (EOW)

ドナー：ILO、女性省、労働・職業訓練省

資金規模：USD200,000 per year

実施期間：2001－2006

カンボジアでは 30 年に渡る紛争で道路などの主要インフラが破壊され、国家経済、そして地域社会に甚大な被害をもたらしました。

中でも女性は男性よりも教育や技能訓練の機会に恵まれず、あらゆる資源へのアクセスも限られているため、依然として雇用問題のあらゆる側面に男女不平等が浸透しています。ベトナムは 1980 年後半の経済改革以降、目覚ましい経済発展の過程にあります。この経済発展は労働市場にも大きな変化をもたらしましたが、男女に対する伝統的な習慣や姿勢などの影響から、女性は男性に比べ、この変化を平等に享受することができず、男女間の所得格差の拡大や、労働市場の機会の男女不平等が課題となっています。ILO はこの状態に注目し、2001 年以降カンボジアの 4 地域、ベトナム 3 地域で政府、地元の NGO、女性組合、農民組合、協同組合などと協力し、仕事におけるジェンダー平等、女性の社会経済的地位の向上、社会正義の促進、そして貧困撲滅を目指し、支援をしています。

貧困に苦しむ女性が社会的地位を向上させるには、男女平等や権利に関する知識を向上させると共に、所得能力を上げ、経済的地位の向上が必要であるという考えから、「女性の雇用機会拡大・地位向上 (EOW)」ではジェンダー教育、技術訓練とマイクロファイナンスを組み合わせ、ディーセントワークの達成を目指しています。

プロジェクトはまず女性を対象にジェンダー教育を実施し、男女平等の観念に対する理解を深めることから始まりました。しかしながら、男女平等に対する理解を深めるだけでは、家庭、そして村において、女性の要求に応じた発言力や決定権は強まりません。そこで、女性の発言力や決定権を強化するためには、所得能力を上げ、経済的地位の向上を図ることが必要であるという考えから、手工業品生産、零細事業、農業や畜産などの技術訓練も実施されました。訓練を受けた女性たちは、学んだことをいかして収入を増やすにも、それだけの元の資金がないため、マイクロファイナンスの枠組みが導入され、ローンが貸し付けられました。

ローンの貸し付けは、女性たちが自発的に作ったグループごとに行われます。1 番の理由は、不良貸付のリスクを軽減するためで、もしメンバーのうちの誰かが返済が滞った場合、全員がローン返済に連帯責任を持つことになります。もうひとつの理由として、団結力を高め、家畜や農業、零細事業、ジェンダーの問題について情報交換や知識の共有がで

きるという利点があげられます。メンバーは毎月の集会で情報交換をする以外にも、マイクロファイナンスを持続的に運営するために、計算や利子の設定の仕方について学びました。特にリーダーや副リーダーは、簿記やレポートの書き方の訓練も受けます。

プロジェクトは、マイクロファイナンスの重要な一部として貯蓄も推進しています。貯蓄額はグループごとに決められ、メンバーは、毎月のローン返済と同時に、貯蓄もします。この貯蓄はメンバーへのさらなるローンの資金になり、グループが決定した金利で貸し付けられ、その利子は、メンバーの収入へとつながります。女性は、貯蓄をすることにより、さまざまな予期せぬ緊急事態に対応できるようにもなりました。

マイクロファイナンスの枠組みは順調に進み、1050 人の受益者のうち、女性 689 人と男性 21 人がローンを受けました<sup>1</sup>。パートナーの地元 NGO は技術訓練実施後、農民やマーケットの小規模行商人に、手工業品生産、農業、畜産、事業拡大のためのローンを提供した結果、収入の増加、定期的な貯蓄、財政的な安定、ジェンダー関係の向上、ネットワーク支援、自尊心の向上など多くの効果が生まれました。

今後マイクロファイナンスのスキームを運営し、長期的に持続させるために、さらに女性の能力向上が必要となってきますが、EEOW のプロジェクトによってすでに女性の経済社会的地位は格段に向上しています。2006 年のプロジェクト終了後も、**パートナーの地元 NGO や、組合など**が今後マイクロファイナンスの枠組みが自立しうまく機能するよう、支援を続けていくことでしょう。

---

<sup>1</sup> カンボジアでの集計

◆◆◆ニースセラウン、39 歳、カンボジア◆◆◆

カンボジアのタケオ地区、コエテルプラス村に暮らす彼女は夫をなくし、3 人の子どもと一緒に暮らしています。以前は田んぼからの十分な収穫もなく家族に十分な食べ物を用意できずにいました。ローンで購入し、飼育している豚も市場に出す前に死ぬことがあり、収入につながらないことも、たびたびありました。貯金も出来ず、子供の治療費や急な出費の際には金貸し業者から高い金利でお金を借りなければならず、借金返済に苦しみました。

しかし女性の雇用機会拡大・地位向上（EEOW）のプロジェクトに参加し、彼女の生活は一変したのです。彼女はマイクロクレジットスキームを運営する自助努力グループの一員となり、グループを通じて家畜を飼育するローンを受けました。それ以外にも、お金の運営の仕方や、畜産業全般、丈夫な子豚の選び方、適切な豚小屋の維持、餌、病気の診断、それに豚を蚊から守る方法も学びました。彼女の豚は以前より早く、健康に育ち市場に出すことができるようになりました。その結果支出は減り、収入は増加しました。さらに、収入の増加とお金の運営について学んだことにより、今や彼女には貯蓄があります。

ニースセラウンはまた、ジェンダーや女性労働者の権利についても学び、彼女に自信をつけると同時に、家族の生活の向上のための勉強意欲をかきたてました。今では彼女は食糧不足に悩まされることなく、子供たちを学校に通わせることができます。